

平成30年度 第1回「消費者の部屋」特別展示

◆沖縄の農産物に関するパネル展◆

開催日：平成30年9月18日（火）～9月21日（金）（4日間）

来場者：191人

内 容：

亜熱帯地域の温暖な気候のもと、沖縄では本土とは異なる多様な農産物が生産されています。これら沖縄の特色ある農産物の中でも、全国で1位の生産量を誇る品目や琉球泡盛の原材料としての可能性が注目されている県産米の生産状況等について、パネル等によりわかりやすく紹介し、来場者に沖縄の農産物についての認識を深めてもらうため「沖縄の農産物に関するパネル展」を開催しました。

今回のパネル展では、全国1位の生産量となっているさとうきび、マンゴー、シークワサー、ゴーヤーなどの生産状況の展示に加え、県産米を使用した泡盛の製造状況、県内でのGAP（農業生産工程管理）の取組や除草剤クロピラリドが含まれる堆肥による生育障害への対応について、わかりやすく展示を行いました。また、来場者には県産シークワサージュースの試飲や県内8つの離島で生産された黒糖の試食を行いました。

来場者からは、「パネルの表や図がわかりやすかった」「定期的に発信してほしい」との声が寄せられたほか、「沖縄の農産物の県内、県外（内地）、海外での評価を知りたい」「県外の人にはマンゴー＝宮崎のイメージが強いので、もっとマンゴー＝沖縄のPRをしてほしい」といった意見もありました。このパネル展をきっかけに沖縄の農産物に対する理解が一層深まり、沖縄産農産物の消費拡大につながることを期待しています。



展示会場



シークワサー、黒糖の展示